

S・M・C

Shizuoka Medical Communication

LPC国際フォーラムに参加して



8/6、8/7の2日間、聖路加看護大学ホールにて、「臨床能力を高めるための模擬患者の活用」と題して、カナダのマックマスター大学の教授他2名の指導者による講演に、当研究会からは今回13名の会員が参加しました。1日目の講演では、模擬患者（SP）の活動報告とともに、SPと研修者（今回は医学生の設定）のセッションをデモンストレーションとして披露して頂きました。海外のセッションの様子を見学したのは初めてでしたが、途中でファシリテーターがセッションを中断し（タイムアウト）、ファシリテーターと研修者のやり取りのあと、再開（タイムイン）したことは驚かされました。SPがそのままの状態セッションに参加していく姿には圧倒されてしまいました。

2日目は10人前後のグループに分かれて、自己紹介後シナリオ作りを行いました。殆どの研究

会でシナリオ作りに関して全くノータッチで、与えられたシナリオで練習して当日に挑むという事でした。とてもシナリオ作りなんて出来ないと消極的な発言の人が多かったように思います。

両日とも、朝9時から夕方4時までの長丁場、しかも同時通訳という特殊な状況の中での講演会でした。改めてSP参加型教育についての日本の現状とカナダの現状との大きな隔たりに益々当研究会の活動の重要性を認識するとともに、早急なSPの養成プログラムの確立の必要性を痛感しました。

我が静岡医療コミュニケーション研究会には、医師、薬剤師、看護師の医療職が会員の半数を占めています。シナリオに必要なデータは医師に、薬の事は薬剤師に、看護の事は看護師に相談出来るため、シナリオ作りは比較的容易に行うことが出来ます。自分のなりたい模擬患者について検討し、実際に定例会で練習を行い、演技やシナリオ内容についてシナリオとして使えると決定したら、要請のあった所で活用するという運びになっています。この現実が功を奏し、グループ討議ではそれぞれがリーダーシップをとることが出来たと思います。今回のような全国大会に参加し、力を発揮することが出来たことにより、皆に自信が付いて帰って来ることが出来たように思います。 (森田)

『ちょっと気になる咳 あなたの肺は元気ですか？』

— 中高年で注意する呼吸器の病気 —

講師 あきやま呼吸器クリニック院長 秋山仁一郎先生 17年9月10日



秋山先生を迎えた今、旬の講演が行われた。参加された方々は老若男女あわせて96名、内容は呼吸とは何か、から始まり肺の役割、解剖、CT写真を見せながら説明された。

中高年で気になる呼吸器の病気として、肺がん、アレルギーの病気、アスベストによる肺の病気（中皮腫等）結核、COPD（慢性閉塞性肺疾患）睡眠時無呼吸症候群をあげられ、それらについての説明があった。中でも肺がん予防には禁煙と年一回は直接レントゲンが必要である。タバコの煙にはニコチン、タール、一酸化炭素の3大物質を含め400種類の化学物質が含まれていて、その内200種類は有害物質であり、タバコをすっている人より周りにいる人のほうが被害は大きい。つまり副流煙のほうが危険であり発ガン性物質が多い。禁煙することで、ご飯がおいしくなり女性にもてる、お金が貯まるなどメリットが大きいことも話された。

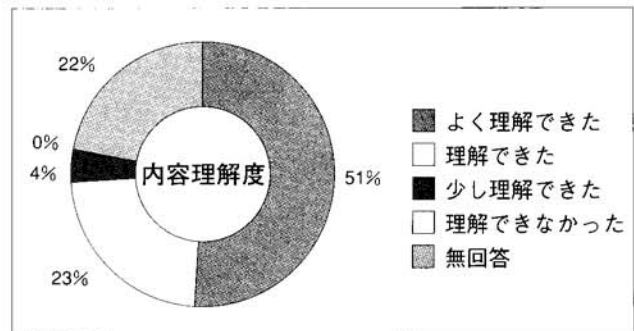
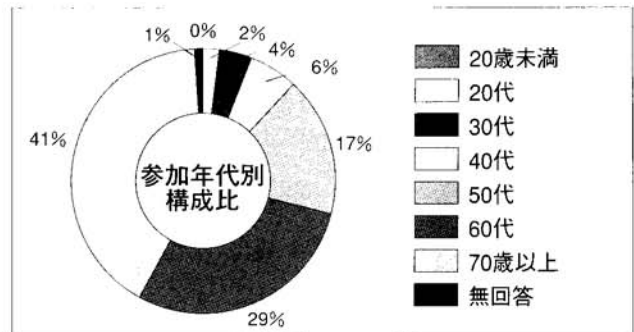
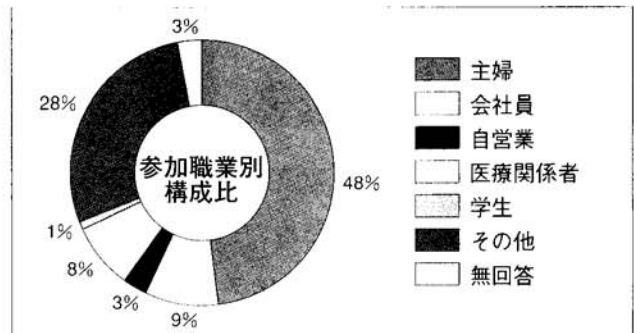
注目はTV等で連日報道されていたアスベストとは何か、いわゆる石綿は天然繊維上の鉱物であり日常の生活空間（建築関係・配管関係）に存在していること。主な病気（中皮腫）は30～40年で発症する。今後建物の寿命とともに解体されること

により、増える可能性があるとの話に身の危険を感じた。

講演会場も静岡市産学交流センター（ペガサート6F）で交通の便も良く多くの人の参加が得られた。

咳にまつわる肺疾患についての講演内容であったが、マスコミで注目されているアスベストについても、わかり易く話されたことが聞いている人々の興味を引いたと思う。

先生のユーモア溢れる話術に、質問も活発で第2弾、第3弾を行って欲しいという参加者からの声も聞かれ好評の中、講演は終了した。講演会場の選択に苦労したが、参加者の人数に満足した。（気田）



初めての挑戦 学会への参加

平成17年10月15日(土) 10月16日(日)の両日、第5回「CRCと臨床試験のあり方を考える会議」(会場パシフィコ横浜会議センター)に初めて参加しました。平成13年度より浜松医科大学の治験管理センターにおいて、CRCの模擬被験者として協力させて頂いたことがきっかけとなり「医療人としての質の向上を目指したCRCのための模擬患者によるコミュニケーションスキル演習」という演題で、県立大学教授山田浩教授の指導の下、ポスター発表を行いました。

内容は当研究会の活動報告及び現在実施している演習方法の紹介、参加者の感想を通してSPを用いた演習の利点についてです。内容が真新しいこともあり、両日とも多数の見学者に眼を通して頂き、発表時間には多くの質問を寄せられました。初めての学会参加ということで緊張もしましたが、関心の高さに活動への意欲もさらに強くなりました。



大学での講演

本年度より、薬科大学も医科大学同様6年制が導入されました。そのような状況の中で、薬剤師とのコミュニケーショントレーニングに力を注いだ当研究会は、平成18年1月14日(土)城西大学薬学部教職員に向けて「薬学教育におけるコミュニケーションの重要性」について特別講義を行いました。

近年、薬剤師はチーム医療人としての入院患者

への服薬指導、院外処方下での服薬指導等、個々の患者への対応をよぎなくされています。また6年生導入で、OSCE(客観的臨床能力試験)の実施も予定されます。

そこで、まず、なぜ薬剤師にコミュニケーションが必要なのかを法的根拠をもとに紹介し、患者との実際の関わりについて説明しました。後半は当研究会で実施している研修方法について実際に演習を見学して頂きました。反響は予想以上で、地道に活動してきた成果がこのような形で評価を頂き、ますます活動の重要性を認識した次第です。(森田)

SP研修会

平成17年11月3日に岐阜大学の藤崎先生を講師に招いてのSP研修会が静岡医療コミュニケーション研究会で開催された。参加人数は他施設からの数名を含む20余名、他施設から数名で藤崎先生の会話がユニークであり、メンバーの意見交換活発で始終退屈させない研修会だった。当時、私はSMCに属しておらず、職場の接遇委員として、ロールプレイのノウハウを身をもって体験する機会にと声をかけていただいたの参加でした。全く予備知識のない私にも模擬患者(SP)とは何か、ロールプレイとの違い、フィードバックに必要なことなどが具体的で、たくさんの情報を得ることができた。作成したシナリオを基に、看護師役を体験することができ、その状況は自分を鏡で見ているような不思議な体験であった。フィードバックで、それまで自分の抱えていたロールプレイの重さがはずれ、「SPは誰でもなり得る」という言葉が印象的であった。その後SMCに入加し、今オスキーを経験した私がいる。今年も藤崎先生の講義研修で、去年と違ったことを吸収し、トレーニングを重ねていけばいくほど新しい気づきがあることを期待している。(稲葉)

平成17年度私たちの活動

| 平成17年度 事業報告 | |
|-------------|--------------------------------------|
| 月 日 | 活 動 内 容 |
| 17年 4月10日 | 平成17年度 総会 |
| 4月26日 | 薬学部セミナーへのファシリテーター・SP派遣（静岡県立大学） |
| 5月21日 | 新人看護職員接遇研修へのファシリテーター・SP派遣（富士宮市立病院） |
| 6月 | SMC7号発行 |
| 7月23日 | 臨床研修医試験へのSP派遣（藤枝市立総合病院） |
| 8月6,7日 | 第3回全国模擬患者学研究大会への参加（聖路加看護大学） |
| 8月26,27日 | 第17回医学教育セミナーへの参加（岐阜大学医学部） |
| 8月27日 | 臨床研修医試験へのSP派遣（藤枝市立総合病院） |
| 9月10日 | 講演会「ちょっと気になる咳、あなたの肺は元気ですか？」秋山仁一郎先生 |
| 10月10日 | 医師研修会へのSP派遣（藤枝市立総合病院） |
| 10月15日 | 第5回CRCと臨床試験のあり方を考える会議への演題発表 |
| 10月18日 | 看護職員研修へのSP派遣（浜松医科大学医学部附属病院） |
| 10月22日 | 医師研修会へのSP派遣（藤枝市立総合病院） |
| 11月2日 | 看護職員研修へのSP派遣（浜松医科大学医学部附属病院） |
| 11月3日 | SP研修会（講師：岐阜大学 藤崎先生） |
| 11月5日 | 医師研修会へのSP派遣（藤枝市立総合病院） |
| 11月17日 | CRC研修会へのSP派遣（浜松医科大学医学部附属病院） |
| 11月20日 | 静岡県薬剤師会、薬剤師研修会へのファシリテーター・SP派遣 |
| 12月8日 | 看護教員養成講習会へのSP派遣（静岡県） |
| 12月10日 | 第7回SP養成者のためのワークショップ（名古屋市） |
| 18年 1月14日 | 「医療コミュニケーションと模擬患者」への講師、SP派遣（城西大学薬学部） |
| 1月25日 | CRC治験特論へのSP派遣（静岡県立大学） |
| 2月4日 | 新人看護職員接遇研修へのSPの派遣（富士宮市立病院） |
| 2月25日 | CRC研修会へのSP派遣（静岡ファルマバレーセンター） |
| 3月5日 | 静岡県病院薬剤師会研修セミナーへのSP派遣 |
| 3月5日 | OSCEへのSP派遣（浜松医科大学） |

この会に興味のある方は下記事務所までご連絡ください

発行

静岡医療コミュニケーション研究会事務所 代表 森田 みつ子

〒420-0882 静岡市葵区安東1-22-25 TEL・FAX 054-248-0348

E-mail mrtmtk2000@hotmail.com

静岡医療コミュニケーション研究会HP：<http://www.geocities.jp/smc22jp/>